

9月9日から12日までの4日間、全県17市町村においてスポーツ分野が22競技、文化分野が4競技で、熱戦が繰り広げられました。

当町においては、9月10日から12日までの実質3日間、能代市、八峰町と同じ軟式野球交流大会と健康教室などを実施いたしましたところ、会場である清水岱公園野球場には、述べ432人の入場がありました。

このような大きなイベントは、そんなにある訳ではなく、十分な対応やおもてなしが出来たか、少し不安はありますが、大会運営や健康増進への取り組み、歓迎レセプションに際しましては、町民の皆様方に多大なるご協力をいただき、事故などもなく、無事終了することができました。この場をお借りいたしまして、関係者の皆様方に改めて感謝申し上げます次第であります。

縁あって、当清水岱公園野球場にエントリートされた、岡山県、徳島県など5チームに、開催地代表の藤里クラブを加え、6チームで熱戦を繰り広げたところであり、特に、当藤里クラブにとりましては、全国の強豪と対戦できたことが、大きな財産となったのではないかと感じております。しかしながら、決勝戦を残した12日においては、夜半からの降雨により、グラウンドでの試合ができなかったため、土床体育館での抽選となつてしまいました。両チームはもちろんとのこと、審判団にも勢揃いしていただき、試合開始予定時刻の午前9時から実施した結果、6対3で徳島県代表の国府球友クラブに栄

冠が輝いたことをご報告申し上げます。少子高齢化に対応した福祉の充実や、スポーツ・文化の振興による教育の向上など、総合的かつ計画的な運営に努め、安心・安全で心ふれあう町づくりを目指す当町におきましては、大変、意義のある大会であったと感じた次第であります。最後に、町外各チームの皆さんからは、スタッフはもちろん、町民の皆さんの温かいおもてなしに、異口同音に感謝の言葉が添えられたことを申し上げます。報告いたします。



◆まち・ひと・しごと創生
藤里町総合戦略の検証について

総合戦略については、これまでの報告のとおり、昨年1月に策定し、人口ビジョンに掲げた目標人口の実現を目指し、仕事、移住、子育て、地域の4つの政策分野に38プロジェクトを盛り込み、プロジェクトごとに数値目標を掲げ、昨年度を地方創生実践元年と位置づけて、町の持続

のための事業に取り組んでいるところでもあります。

まち・ひと・しごと創生法では、この数値目標を基に実施した施策・事業に対して、事業の達成度や成果について検証し、プロジェクトを進めていくことが求められております。また、この検証に際して、外部有識者などで構成される検証機関において客観的に評価することになっており、当町においても今月5日に、委員13名を検証委員に委嘱し、検証委員会を開催したところであります。

今回、検証の対象となりました事業は、平成28年度に地方創生加速化交付金を活用して実施した「ふじさと Reデザインプロジェクト」と「町民すべてが生涯現役を実践する事業」の2事業であり、検証委員会で協議していただきましたところ、いくつかの改善点の指摘はあったものの、すぐには成果が出ないものであり、工夫しながら続けることが重要であるとして、総合戦略の目標達成には「有効であった」と評価をいただき、いずれも今後も事業を継続していく方向で意見をいただいたところであります。

このほか、総合戦略の他のプロジェクトの進捗状況についても意見交換し、進んでいるところの現況の把握、また、進んでいないもの、実施できていないプロジェクトについては、プロジェクト実施担当課においても十分検討、点検し、進捗を図るべきとの意見をいただいておりますので、進捗状況を点検しながら人口ビジョンの実現に努めて参りたいと思っております。

議員の皆様にも、この検証結果について報告をさせていただき、意見をいただきたいと思っております。

主な議案内容

- ◎財政健全化判断比率について
- ◎公営企業の資金不足比率について
- ◎藤里町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
- ◎教育委員会委員の選任について

一般会計補正予算

1億4,734万1千円を増額し予算総額を35億6,195万6千円としました。

歳入

国からの普通地方交付税の当初算定数値確定にともなう増額分と前年度繰越金が当初の予想を上回った分を計上したほか、今回の補正財源として温泉利用施設基金と財政調整基金からの繰り入れが主なものになります。

歳出

歳出では、平成28年度決算に係る剰余金の処分として、地方財政法の規定による財政調整基金への積み立てが主なものになります。